



秋田をこくる建設人

Vol.04

施工管理(管工事)

上野 幸大さん(20代)  
山二建設工業(株) [秋田市]  
キャリア 11年



顧客の目線に立つことを一番に考えて  
皆が納得のいく「もどくり」を  
目指しています



公共施設などの規模の大きい建設工事では複数の業者が共同で工事を行うが、その中で施設設備の現場管理を任されているのが山二建設工業の上野幸大さんだ。その真面目な人柄と、周囲とのコミュニケーションを欠かさない細やかな仕事ぶりには、社内外から高い信頼と期待が寄せられている。

### 仕事の「やりがい」は？

空調や衛生設備の現場管理をしています。分かりやすく言うとエアコンや水回りの設備ですね。配管の図面を作成したり、現場で作業指示を出したり、建築や電気設備など他の業種と一緒に現場をやることが多いので、作業の調整なども仕事のうちです。多くの人と関わる仕事ですので、コミュニケーションをしっかりとって円滑に工事を進められたときは達成感があります。公共の建物など、社会性が高い建物の完成に貢献できることもやりがいです。

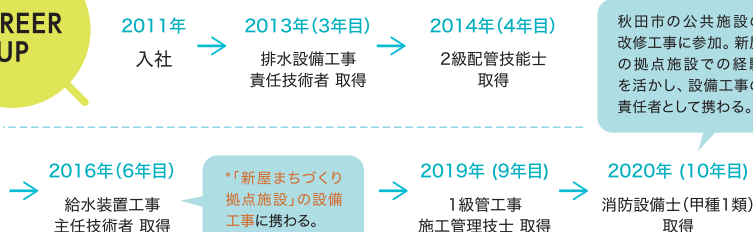
### 仕事を通じて成長した点は？

機械科出身でしたので、入社時は設備に関して全く知識がありませんでした。最初の頃は現場で迷惑をかけてしまうこともあり、仕事を辞めようかと悩んだこともあります。上司や先輩の「まずは最後までやってみる」という励ましもあり、分からないことはとにかく聞いて、他の人のやり方も見ながら仕事を覚えました。お客様の目線に立つことを一番に考えながら、現場の作業員とも諦めずに話し合うことで、納得のいくものをつくる。現場でのコミュニケーションの大切さを身をもって学んだことが、今の自分の仕事のやり方のベースになっています。

### 今後の目標は？

現場の規模が大きくなればなるほど、顧客やビジネスパートナーとの信頼関係が重要です。最近は、スムーズにコミュニケーションをとるためにも、他の業種の知識が必要だと痛感しているので、いずれは建築や電気設備の資格取得にも挑戦していきたいですね。気がつけば社内では自分より若い社員も増えてきたので、自分が今まで学んできたことや、顧客目線でのものづくりの大切さを次の世代にも伝えながら、一緒に建設業界を盛り上げていきたいと思っています。

### CAREER UP



### ココロに残っているプロジェクト

#### \*新屋まづくり拠点施設 機械設備工事 (2016年/秋田市)

ガラス工房をはじめとするものづくりの地域交流施設の建設現場。デザイン性の高い建築物で、顧客の要望に応えながら納得のいく設備の納め方や仕上げに、現場代理人とともに試行錯誤を重ねた。



### 上野 幸大さんの もうひとつの物語

#### 地元のイベントやスポーツ観戦を楽しんでいます

「休日ですか？奥さんと一緒に過ごすかな…普通です」と、上野さん。仕事とプライベートはしっかり分けることを会社側も推奨していて、休みも取りやすく、時々スポーツ観戦チケットの抽選があるなど、福利厚生も手厚いようだ。どんなことをして過ごすのかを尋ねてみると、「食事に行ったり、花火を見に行ったり。あとは、チケットが当たれば野球やバスケの試合を見に行ったりもしますね」と、「普通に“充実のプライベートを過ごしているようだ。

